

## 日さく、新潟の支店に防災井戸 自社製 ハンドポンプ式

### 地域に開放、普及狙う

日さく(さいたま市大宮区、若林直樹社長)は、上下105層から水をくみ上越支店(新潟県上越市)にげる。呼び水が不要の機構で、手押しなら水道と同等の毎分20リットルの水を出せる。中に近隣住民に披露し、断水は洗い物やトイレ洗浄な水時に活用してもらおう。防災井戸を自治体などに訴求する中、地域に開放して普及を図る。自社の敷地内に設置するのは、西日本支店(新潟市東区)と上越支店(新潟市中央区)や本社(名古屋市中川区)に次ぐ3例目。上越支店での投資額は設備や工事で約1300万円。

設置したのは、ハンドポンプ式の「NSB-100」にも置きたい」として「TYPE-B」大通り(新潟)は少ない。今後、公園など長は「関東には多いが県内を強化。北山勝広上越支店」



日さく上越支店内に完成した防災井戸。ステンレス表面をプラスチック処理して現代風のデザインにした